

本県産業や地域経済の将来をめぐる論点

■人口減少への対応

人口減少により本県で今後懸念されること

○消費（需要）の減少、労働力不足＝担い手不足による生産力（供給）の低下
⇒**地域経済・産業の活力が維持できない。**

（例）農林水産業、建設業、福祉サービス業等への影響、事業承継の困難化

○地域の維持困難、地域活力の低下

⇒**地域での暮らしに必要なサービスが受けられない。**

（例）商業施設や公共交通機関の撤退、コミュニティの希薄化、介護需要に対応できない

○行財政への影響

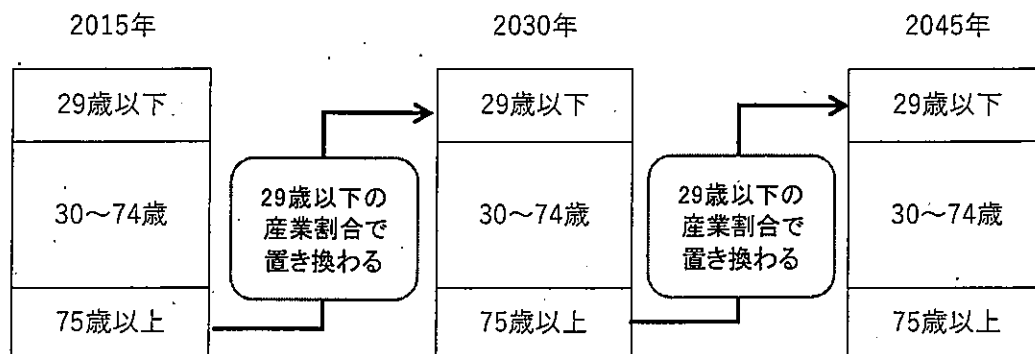
⇒**財政負担が増加する。**

（例）税収の減少、社会保障費の増大、公共施設の維持・更新

産業別就業人口の試算

○推計条件：

2015年→2045年にかけて、75歳以上の就業者が29歳以下の産業割合で置き換わる。



○推計結果：別紙のとおり

■推計結果

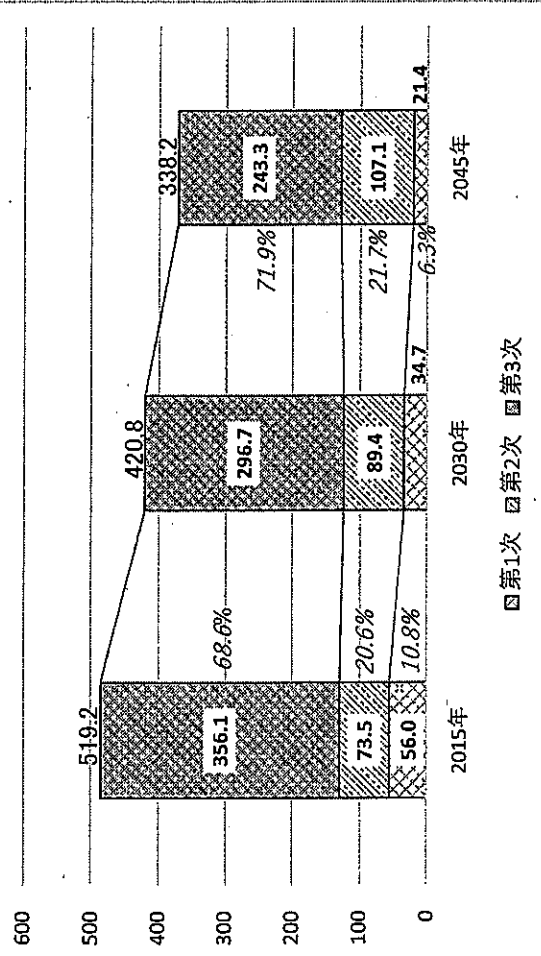
1次産業の割合が減少

製造業や情報通信業、卸・小売や医療・福祉等が増える。

(単位：千人)

	上段：総数		農業	林業	漁業	鉱業、採石業等	建設	製造	電気・ガス・水道	情報通信	運輸・郵便	卸・小売	金融・保険	不動産・物品賃貸	医療、福祉	公務	その他
	下段：割合																
2015年	519.2	100%	49.7 9.6%	3.2 0.6%	3.1 0.6%	0.2 0.0%	43.8 8.4%	63.1 12.2%	2.4 0.5%	6.0 1.2%	20.5 3.9%	77.9 15.0%	10.3 2.0%	6.5 1.3%	81.5 15.7%	23.5 4.5%	127.6 24.6%
2030年	420.8	100%	29.8 7.1%	2.5 0.6%	2.4 0.6%	0.1 0.0%	35.6 8.5%	53.7 12.8%	2.1 0.5%	5.3 1.3%	16.8 4.0%	64.0 15.2%	8.8 2.1%	5.0 1.2%	69.7 16.6%	20.4 4.8%	104.6 24.9%
2045年	338.2	100%	17.7 5.2%	1.9 0.6%	1.9 0.6%	0.1 0.0%	28.6 8.5%	44.9 13.3%	1.8 0.5%	4.6 1.4%	13.6 4.0%	51.8 15.3%	7.4 2.2%	3.7 1.1%	58.7 17.3%	17.4 5.1%	84.3 24.9%

推計結果 (千人)



○1次産業：高齢者のリタイアが進む

○医療・福祉：就業割合は増えても需要増

新規就業者等の確保が必要

○全体的な労働力不足

- ・就業者の確保 (高齢者・女性・外国人等)
- ・技術革新による省力化・労働代替

技術革新(AI・IoT)
グローバル化

■グローバル化と技術革新の急速な進展

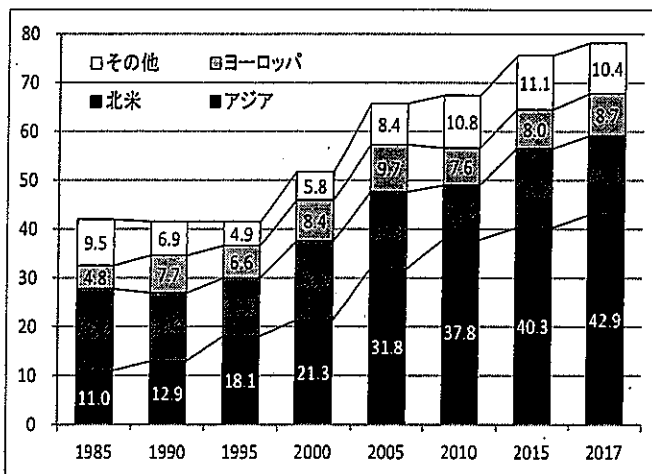
- ICTなどの発展により、資源や情報が国境を越えて行き来するようになり、国際社会の動きが地域社会に直接影響を及ぼすようになっている。
- 世界では、第4次産業革命とも呼ばれるAI、IoT、ロボットなどの技術革新が急速に進展しており、日本でも技術革新を活用し、新たな価値やサービスの創出につなげる「Society5.0」の動きが始まっている。

グローバル化と地域社会

グローバル化により、世界の動きが直接、地域社会に影響を与えるようになっているが、これは同時に、国際的な地域間競争が激化することを意味している。

本格的な少子高齢・人口減少社会を迎える中、経済的つながりが強く、成長著しいアジアを中心に、経済・観光面はもとより、人財面でも交流を拡大し、その活力を取り込んでいくこと、さらには、地域の強みや特性を生かして国際社会の中でも個性ある地域づくり、産業づくりを行うことがますます重要となっている。

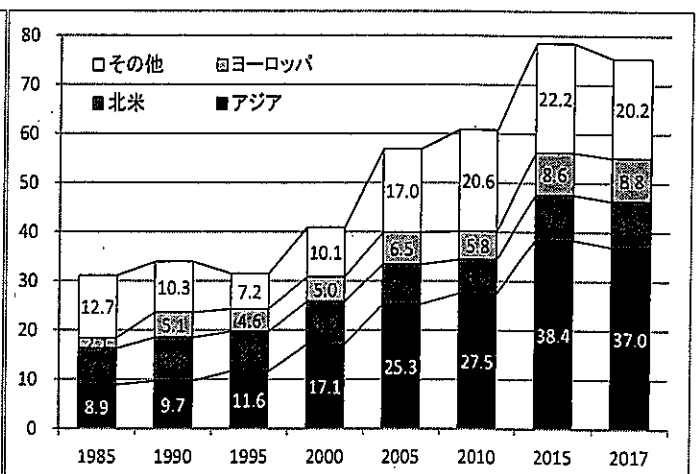
○日本の輸出額



(出典：第47回海外事業活動基本調査結果概要(経済産業省))

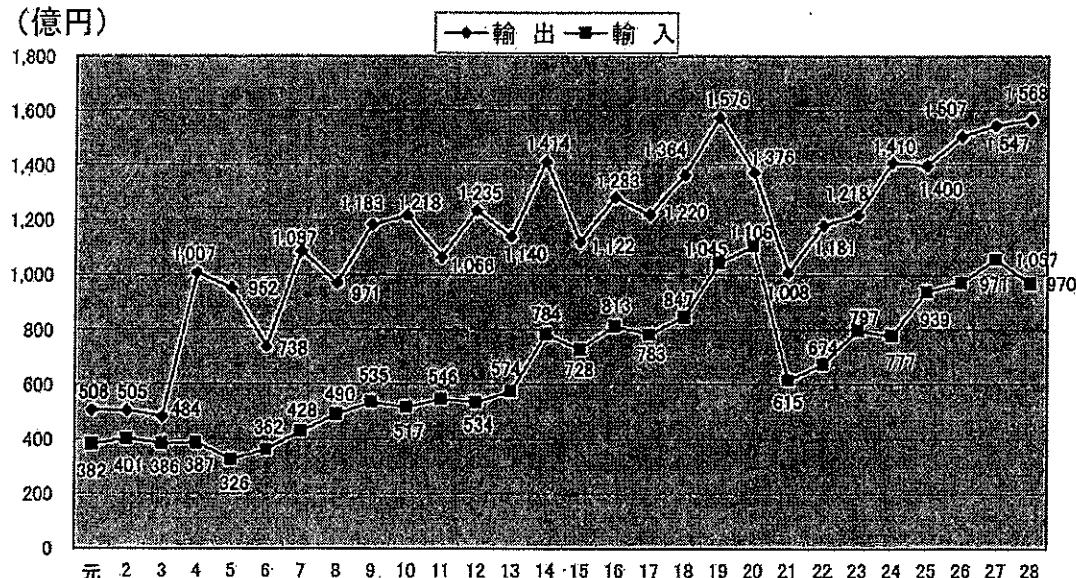
○日本の輸入額

(単位：兆円)



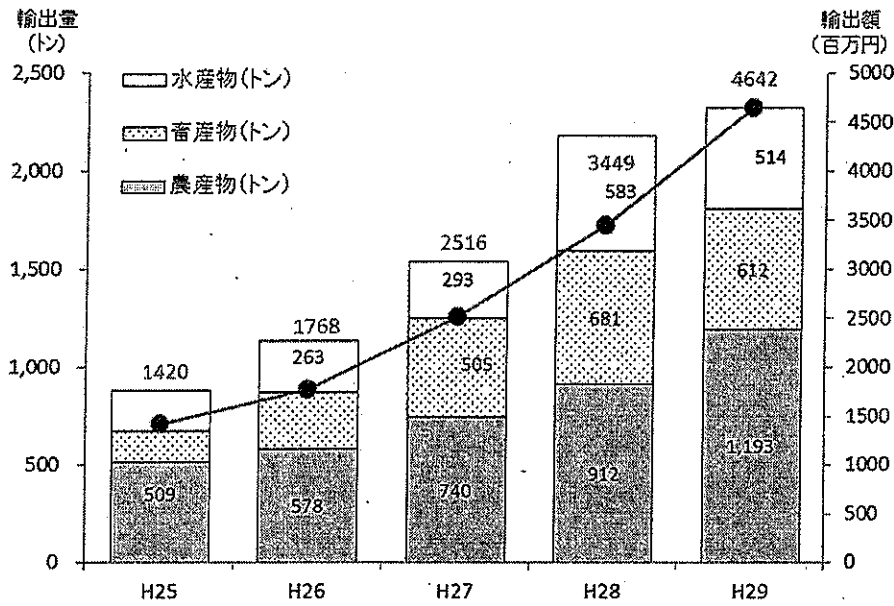
(出典：日本の観光統計データ(日本政府観光局))

○宮崎県の輸出額・輸入額 (億円)



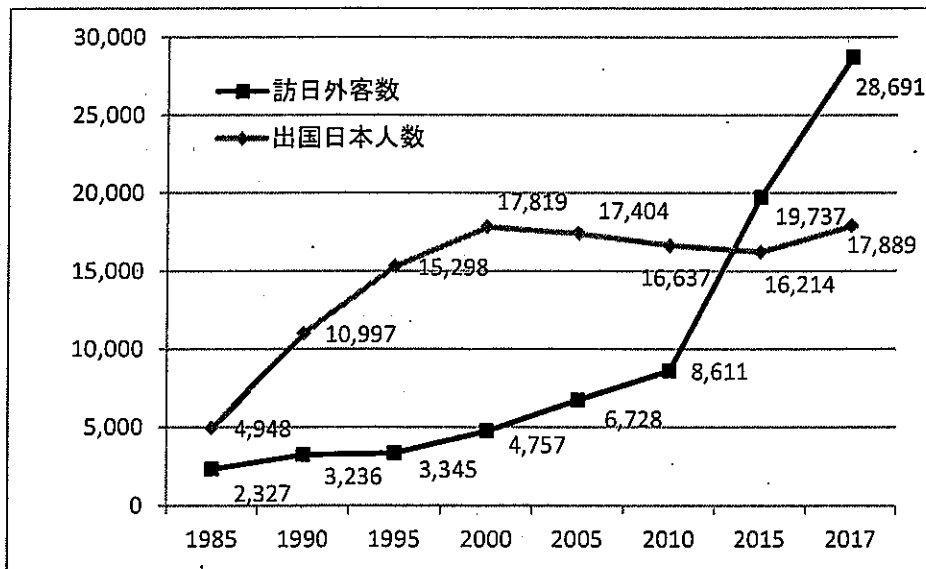
(年) 3

○本県輸出額のうち農林水産物の輸出額



※ 日本の貿易額は、輸出、輸入とも対アジア地域を中心に増加傾向にあり、本県においても順調に輸出が伸びている。

○訪日外客数、出国日本人数 (単位: 千人)



(出典: 日本の観光統計データ (日本政府観光局))

○本県への観光客数

	H25	H26	H27	H28	H29
県内観光客数 (千人)	7,599	7,812	8,912	8,882	8,776
県外観光客数 (千人)	7,578	6,665	7,056	6,443	6,539
うち訪日外国人 (千人)	193	155	214	214	290
計	15,177	14,477	15,968	15,325	15,315

出典: 「宮崎県観光入込客統計調査」 (県観光推進課)

○観光消費額

	H25	H26	H27	H28	H29
観光消費額 (県内+県外客) (億円)	1,545	1,506	1,579	1,338	1,551

出典: 「宮崎県観光入込客統計調査」 (県観光推進課)

技術革新の進展

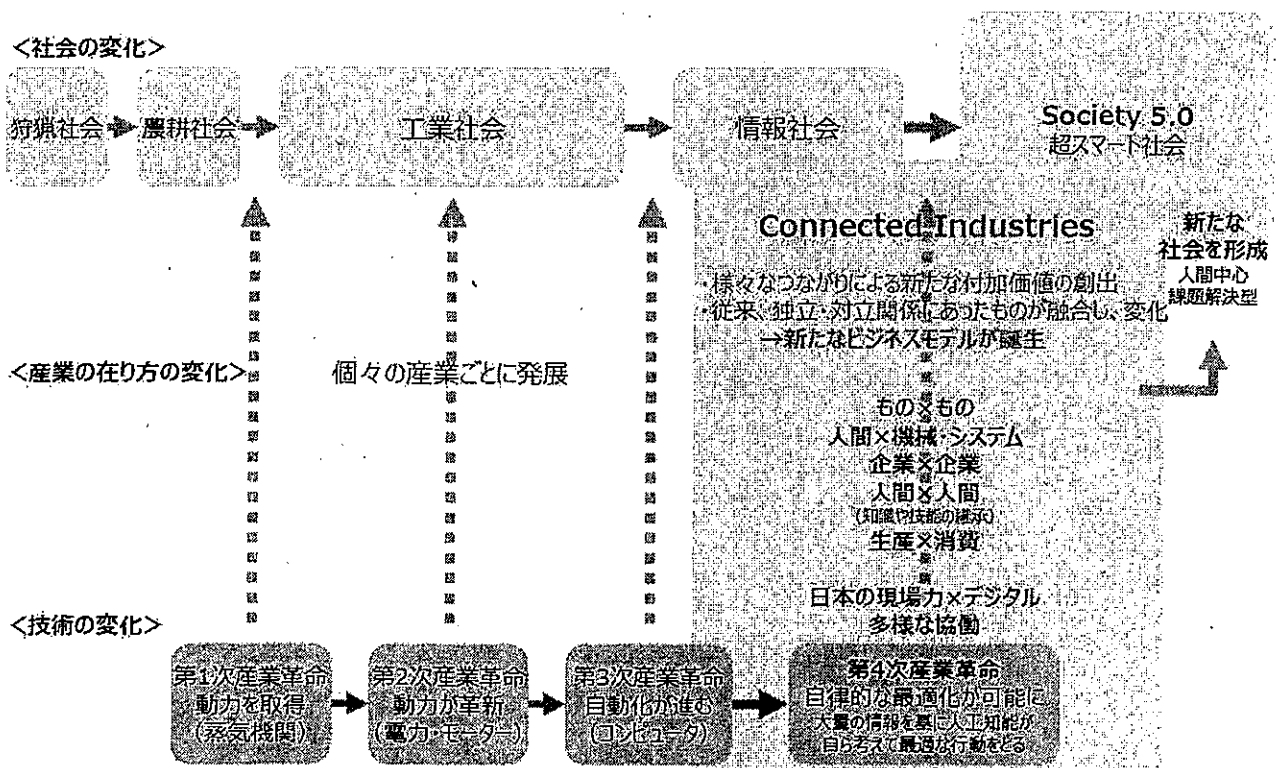
産業の生産性と競争力を高めていくためには、技術進歩が重要な要素であるが、この技術進歩をもたらすのが技術革新（イノベーション）であり、IoT、ビッグデータ、人工知能（AI）、ロボット等のイノベーションが急激に進んでいる。我が国でも、先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り込んで、様々な課題を解決する社会「Society5.0」の実現を目指しており、自動運転や遠隔診療、シェアリングエコノミーの活用などに向けた取組が進められている。

少子高齢化と人口減少が進行する中であっても、このような取組や技術開発が進むことにより、国際競争力の強化や産業・経済の活性化が図られるとともに、健康寿命の延伸や移動困難者の利便性向上、労働力不足への対応をはじめとした社会的な課題解決にも寄与し、持続可能でより豊かな社会やくらしの実現につながることが期待されている。

【先端技術の展開事例】

- IoT～ウェアラブル端末などを利用した健康情報の収集による生活習慣病予防
- ビッグデータ・AI～様々な業種のデータ等から需要を予測した製品やサービスの開発
- ロボット～ロボット介護（介護支援型、自立支援型等）などによる労働力の補完
ドローンを活用した個別配送などの物流

Society 5.0につながるConnected Industries



出典：新産業構造ビジョン（経済産業省）

お年寄りがいる家族では・・・

高齢者・家族

新しい
医療介護
システム

市街地から離れた実家に暮らす
高齢の父親は、遠隔診療により、
かつての週に1回から今では月に1回へと
**通院負担が軽減され、データ・AIを活用した
かかりつけ医による診療を無理なく受けられる。**

**要介護状態の母親は、データ・AIを活用した
最適なケアプランにより、要介護度が改善し、
自宅で過ごす時間が増え、回らんを
楽しんでいる。**



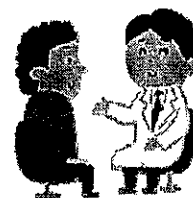
医師が頑張る現場では・・・

新しい
医療介護
システム

医療現場

医師は、これまでバラバラだった
**患者の健診・治療・介護記録を、
本人同意の下、確認。初診時や
救急時に個人に最適な治療が
いつでもどこでも可能に。**

昼夜にまたがる
途切れない仕事



高齢者・家族

生活の足
の不足

移動革命
の実現

鉄道や路線バスが廃線となり、
**仲間との囲碁の会や買い物・通院に
車を使用していた高齢者が、心配する
家族から運転を控えるよう勧められていた。
県道を走る自動走行バスと道の駅からの
移動サービスが導入され、住み慣れた
土地で、家族に心配をかけずに暮らし、
外出も続けられている。**



忙しかった現場では・・・

物流現場

通信な
スケーラビリティ
による負担

移動革命
の実現

eコマースの進展に伴い、
物品取引が飛躍的に増大して、
ドライバー不足と長時間労働に直面。
しかし、一人のドライバーが行うトラックの
**隊列走行によって大量の貨物が輸送可能、
ドローンを活用した個別配送が一般化すること
によって、大きな負担なく物流事業が継続でき、
消費者ニーズに沿った新たな配送サービスが
日々生み出されている。**



新たなチャレンジを する人たちは・・・

IT専門人材

スキルアップ
の手段・動機

ITベンダーで販売管理のシステムを
**古い言語 (COBOL等) で開発していたが、
30歳代半ばで、e-learningで新しい
プログラミング言語 (Python等) を習得。
転職先のITユーザー企業で、顧客の好みに
カスタマイズしたサービスを提供できる新たな
システムの開発を先導し、海外のIT人材と
比べても遜色のない給料で
活躍している。**



建設現場

休日までの
労働負担

快適な
インフラ

これまで習得するのに何年も
**かかったノウハウも、ICT建機により短期間で
身に付けられるようになる。週末返上で
とりかかっていた工事でも、熟練工の
長時間労働に任せせずに、土日の休日
をきちんと確保することが可能に。**



人材力の
抜本強化

若手

小学校でのプログラミングの授業を
きっかけに、**10年後の社会で自動走行車や
ロボットが日常生活に溶け込んでいる姿を
自分で設計したいと思い、大学の工学部に進学。
情報工学、機械工学のみならず、経営学など
他分野も専攻した後、ベンチャー企業を創業。
大手企業との共同研究に邁進している。**



介護現場

昼夜にまたがる
途切れない仕事

新しい
医療介護
システム

ロボット・センサー等の活用により、
**夜間の見守りなど職員の厳しい労働環境は
大幅に改善され、その分、専門性を活かして
個々の利用者に最適なケアの
提供が可能に。**



地域で頑張る人たちは・・・

データ
利活用

農業現場

経験や勘のみに頼らず、**熟練農家の知識、生育状況や気象など様々なデータを駆使し、新規参入者でもおいしい安全な作物を収穫でき、生産性向上や経営改善によって稼げる農業が広がっている。**

観光地

地元有志が設立した**まちづくり会社やDMO**（観光地域づくりの舵取り役）が、地域の銀行やファンドから資金や経営支援を得て、景観を整備し、空き店舗や古民家等の地域資源を再生。**観光客の行動をデータ分析して、街の活性化と個々の事業者の生産性向上を実現。**国内外からの観光客で四季を通じて賑わっている。

地域経済
好循環システム
の構築

中小製造業

中小企業の現場に直接出向いてくれる**専門家に相談し、自社に合った低コストで機能的なロボット・IoTツールを導入。**製造プロセスの効率化に加え、**原材料仕入れ先や製品納入先とのデータ連携**によって取引先の工場の稼働状況や販売計画から先回りした対応が可能になった。系列外の企業との取引も生まれ、**年間の繁閑の変動を抑えつつ、売上を増やすことができた。**

小売

ITの専門性が特になくても**身近な税理士等の勤めでクラウドサービスを導入**（月額数千円～）。POSレジや受発注システムと連携して**売上・仕入データが自動生成され、経理や確定申告が簡単に。**データ分析とAIによって**商品の入替えと価格の最適化を行い、更なる顧客価値の高い新サービスを開始。**

旅館経営者

売り上げ減に悩んでいた旅館経営者が、従業員に、**社会人講座でデータを活用した最新の接客業を学び直してもらった。**利用客の好みなどの情報を全て「見える化したシステムを使いこなすことで、利用客のニーズに合った丁寧なサービスを提供し、顧客満足度と売上増を達成している。

行政手続
簡素化

中小企業

ある省庁に提出した情報については、別の省庁から同じ情報を求められることがなくなり、**行政側の縦割によって悩まされることがなくなる。**複数の補助金の申請を行う時でも、**同一事項は一回記入すればよい。**

人材力の
抜本強化

サプライ
チェーンの
次世代化

毎日の暮らしでは・・・

日本を楽しむ 旅行者は・・・

規制の
「サンドボックス」
の創設

家庭

地元のベンチャー企業が**新たな通信方式を元に、暮らしを便利にするサービスを考案。**家庭内の**冷蔵庫や電子レンジなどに蓄積される日頃のレシピデータや食材の使用データを相互に参照し、好みに応じた新しいレシピの提案や、足りない食材を自動で近所のスーパーに注文してくれるもの。**現行の規制は**新しい通信方式を想定していなかったものの、サンドボックスによって、すぐに実証を開始。**当局も一緒になって実証データを確認。これによりスピーディにサービスイン。

消費者

日常生活のふとした機会に、**着たい服をスマホで入力。自分にぴったりの寸法、好みの色・素材の洋服が、既製品とさほど変わらない価格・手間で購入できる**ように。

旅行者

2020年オリンピック・パラリンピックで東京を訪れた国内外の様々なニーズを有する旅行者が、交通運行情報や施設情報を組み合わせた高度なナビゲーションにより、複雑な東京駅構内でも迷わずに乗り継ぎ、公共交通機関で会場や宿泊場所へスムーズに移動している。

サプライ
チェーンの
次世代化

生活者

FinTech

アプリを使って、毎月の家計簿は自動作成。友人への送金もスマホでできた。**サービス申込み時の本人確認もオンライン。**アメリカ留学中の息子への**仕送りはブロックチェーンにより大幅に安価に。**買い物で現金は使わない。

データ
利活用

